

**【学校教育目標】**  
 「自主・自立を目指す生徒の育成」  
 ～確かな学力を身につけ、自らを律し  
 他人を思いやる豊かな心をもって、ともに自立を目指す生徒の育成～

## 人生をあきらめる！？

昭和48年(1973年)8月、自宅前の神崎川及びその土手で毎日のように友達と遊んでいた小学3年生の開少年は、川に浮かんでいる筏が気になっていた。当時、神崎川では川底にたまった土砂やヘドロを取り除くためのしゅんせつ工事と護岸工事が行われていて、工事関係者の使っておられた筏が工事終了後も残されていたのである。ドラム缶2個を並列にし、その上に板を敷いて、柵まで作られていたその筏を少年たちが見逃すはずはなく、彼らは連日筏で遊ぶことになった。そんなある日、いつものように筏で遊ぶため近所の小学5年生の男の子と一緒に土手に降りてみると、ドラム缶の片側に少し水でも入ったのか、筏が斜めに傾いていた。なんとなく悪い予感がしながらも、2人で遊び始めると、当然のように夢中になって筏に乗ったり、岸に飛び移ったり、カエルをつかまえたり、本当にやりたい放題。

太陽が西に傾きかけた頃、筏から岸壁に飛び移ろうと試みた開少年はいつもと違うことに気づきました。川の水位が下がっていて、予想したより岸壁が相対的に高くなっていたのです。神崎川は河口からの距離が短く、大阪湾の干満の影響を受け、1日のうちで何回か川の流れる方向が変わったり、水深が変わったりするのでした。本来なら自分の腰のあたりで手をついて、上がることのできる岸壁の地面がなんと胸のあたりだったのです。高校生くらいなら腕の力もあるので、懸垂の要領で上がることもできたと思われそうですが、なんせ彼は当時小学校3年生。最初こそ上がろうと努力しましたが、だんだん身体は下がっていくばかり。足先が水に触れたあたりで力尽きて川に落ちてしまいました。

私の目測で水深は3m程度、水は濁っていて水中では緑色の世界が広がっていました。そんな悠長なことを言ってる場合ではありません。とにかく、筏まで泳がなきゃ！ということで、水面に浮上した彼は、体育の時間に習ったクロールや平泳ぎを懸命に使って筏まで泳ごうと努力しました。言葉にすると簡単ですね。でも、その時の恐怖と言ったらありません。筏の上から「ひらき！こっちゃ！」と叫ぶ友達の声もむなしく、川の流れるには逆らえず、自分より上流にある筏からは離れていくばかり。なんせ、小学校3年生の泳力ですから……。

どれくらい時間がたったことでしょうか、絶望感が押し寄せる波のように増幅する中でもがき続け、疲れ果てた開少年は、「これで終わりだ」と挫折して泳ぐのをあきらめ、ついに自身の人生に終止符を打つことにしました。これも体育の授業で習った「だるま浮き」の態勢に入って、両膝を抱え目を閉じたのです。その瞬間、だるま浮きをする自分自身を少し離れたところから俯瞰する映像が頭に浮かび、声になったかどうか分からない「お母さん、お父さん、さよなら……」の言葉を最後に意識が途切れました。果たして、開少年の運命は……!?

レジャーや遊び、スポーツというものには、多かれ少なかれ危険が付きまといまします。100%安全なレジャーなど存在しません。部活動も同様ですが、いろいろな観点で世間から大人として見られる中学生の皆さんには、ある程度、自身の安全を自身で守ることが必要になります。夏に多く発生する水の事故や熱中症への対策を自身で施し、安全には最大限の注意を払って、貴重な体験のできる夏休みにしてもらえたらうれしく思います。



保護者の皆さま、地域の皆さま、この4か月間、本当にお世話になりありがとうございました。皆様のおかげをもちまして何とか1学期を終了することができました。夏休みを含め、2学期以降も教職員一同学校教育活動に邁進いたしますので、今後ともご理解、ご協力いただきますよう、よろしくお願いいたします。

ちなみに、小学3年生の開少年のその後については、本校ホームページの学校ブログ「校外学習」に掲載しますので、ご高覧頂ければ幸いです。



## 評価説明会でいただいたご質問にお答えします

1学期は、説明会や懇談等、様々な機会に学校まで足をお運びいただき、ありがとうございました。6/21(水)の進路・評価説明会で保護者の方からいただいた質問について、以下のよう回答させていただきます。

**質問1** 定期テストだけで評価が決まるわけではないとのこと、定期テストで100点をとっても評価が下がる場合があるとのことでしたが、その反対で0点でも評価がAや5まで上がることはありますか？

**回答1** 授業内で取り扱った様々な評価材料を総合して評定を算出するため、定期テストが0点でも評価でAがつくことや評定が5になる可能性はゼロではありませんが、かなり厳しいと考えられます。定期テストの点数はあくまで評価材料の1つであり、定期テストだけで評価が決まらないので提出物、授業態度などもしっかりと取り組んでください。

**質問2** テスト当日にやむを得ず欠席した場合の評価はどのようになりますか？

**回答2** 直近に行ったテストの点数と平均点をもとに見込み点を算出して、評価を算定します。

## 学校閉庁日について

8月11日(金)～15日(火)は学校閉庁日です。この間は学割や各種証明書の発行も含め、職員室・事務室での対応ができません。学割の発行等を希望されるご家庭は早めの申請をお願いいたします。受付は学校閉庁日を除く平日の8:30～16:30となります。



## クラブ表彰

水泳部 第66回 三島地区中学校水泳競技大会(7/17)

男子 200m 背泳ぎ	第2位	〇〇〇〇	2. 54. 02
女子 200m 背泳ぎ	第3位	〇〇〇〇	2. 59. 25
女子 200m 平泳ぎ	第3位	〇〇〇〇	3. 17. 43
男子 100m バタフライ	第4位	〇〇〇〇	1. 13. 43
女子 200m 背泳ぎ	第6位	〇〇〇〇	3. 13. 82
男子 200m 平泳ぎ	第6位	〇〇〇〇	3. 14. 29
フェアマナー賞			吹田市立第五中学校



## 本校の3年生が国体選手に選出されました！

先日に行われた大阪府民スポーツ大会の成績により、3年1組 〇〇〇〇さんが7/29・30の「かごしま特別国民体育大会」のスポーツクライミング競技 大阪府少年男子の部 予備選手として選出されました。

# 行事予定8~10月

給食		8月		給食		9月		給食		10月	
1	火			1	金	○	大阪880万人訓練	1	日		
2	水			2	土			2	月	○	朝礼 教育実習開始
3	木			3	日			3	火	○	
4	金			4	月	○		4	水	○	
5	土			5	火	○	チャレンジテスト(3年)	5	木	×	中間テスト
6	日			6	水	○		6	金	×	↓
7	月			7	木	○		7	土		
8	火			8	金	○		8	日		
9	水			9	土			9	月		スポーツの日
10	木			10	日			10	火	○	第1回選管(告示)
11	金	山の日 学校閉庁日(~8/15)		11	月	○	文化祭取り組み期間(~9/21)	11	水	○	
12	土			12	火	○		12	木	○	
13	日			13	水	○		13	金	○	
14	月			14	木	○		14	土		
15	火			15	金	○		15	日		
16	水			16	土		吹田市子ども科学作品展(~9/18)	16	月	○	諸費第3期再振替
17	木			17	日			17	火	○	後期生徒会立候補締切
18	金			18	月		敬老の日	18	水	○	体育大会予行 後期公示
19	土			19	火	○		19	木	○	体育大会
20	日			20	水	○		20	金	○	体育大会予備日
21	月			21	木	○	文化祭準備	21	土		
22	火			22	金	○	文化祭	22	日		
23	水	Jアラート(11:00)		23	土		秋分の日	23	月	○	
24	木			24	日			24	火	○	第2回選管(リハ)
25	金	×	始業式 実力テスト(2科) 午前中のみ	25	月	○	諸費第3期振替	25	水	○	6限立会演説会
26	土			26	火	○		26	木	○	
27	日			27	水	○		27	金	○	
28	月	×	実力テスト(3科) 午前中のみ	28	木	○		28	土		
29	火	○		29	金	○	漢字検定申込締切	29	日		
30	水	○		30	土			30	月	○	教育実習最終日 実力テスト(3年)
31	木	○						31	火	○	

## 熱中症予防について(もう一度！)

熱中症の予防に関し、学校としてホームページでもお知らせの通り実施させていただきますのでご理解のほどよろしくお願いいたします。また、以下の点について、自身の健康を知り、自身の健康を自身で保つという観点で指導いたしますので、ご理解ご協力をいただきますよう、併せてよろしくお願いいたします。

- ① 前日の睡眠が7時間未満の場合、部活動への参加はご遠慮いただきます。
- ② 当日の朝食や昼食を欠食されている場合、部活動への参加はご遠慮いただきます。
- ③ 食事直前の大量の水分摂取は食欲減退につながりますので控えていただき、好き嫌いをなく栄養バランスの良い食生活を心掛けるよう指導いたします。



これほど脳が活性化する方法を見たことがない

…脳研究者が驚いた「勝手に勉強する子」ができていくプロセス

川島 隆太 の意見・プレジデントオンライン 2023.6.24 9:15

あまたある方法論の中で、我が子に真っ先に取り入れるべきものは何か。人間の脳活動の仕組みを研究する川島隆太さんは「幼少期は読み聞かせ、学童期以降は音読をぜひ継続的に実践してほしい」という——。(第2回/全3回)

※本稿は、川島隆太『子どもの脳によいこと大全』(プレジデント社)の一部を再編集したものです。

「音読」が最も脳を活性化させる

私はこれまで数百にもものぼる実験を行い、脳が活性化の様子を研究してきました。

その中で、最も強く脳が活性化したのが「音読」でした。現在においても、私は音読以上に脳を活性化させる実験結果は見たことがありません。

音読を行うと、脳の神経細胞が一斉に活性化し、脳の血流がどんどん高まって、大脳全体の70パーセント以上が活動しはじめることがわかっています。



言語を読んでいるときに脳内で起こっていること

言語を読んでいるとき、脳内では何が起るのでしょうか。

まず、私たちが文章を黙読すると、目にしたものを調べるための「視覚野」がある後頭葉が働きはじめます。次に、目を動かす指令を出す「前頭眼野」が働いて文字を目でとらえ、言葉の意味を理解しようと働く「ウェルニッケ野」が意味をつかもうとします。

そして、「脳全体の司令塔」である前頭前野が働き、読んだ文章を理解し、記憶し、思考するという活動が行われるのです。

このとき面白いことに、聞こえた音を調べる「聴覚野」という脳の部位も働いていることがわかっています。つまり、私たちは文章を黙読しているとき、心の中で声に出して読み、その自分の声を聞いているということです。

【…次号へ続く】